



## 奨学金付き求人？ Win, Win and Win !

北陸銀行 国際部  
ニューヨーク駐在員事務所  
内間 洋子

5月、アリゾナ州でレストランを経営するオーナーが、新規採用者には短期大学の授業料約55万円を提供するとの求人広告を出し、大きな話題となりました。

現在アメリカでは、求人数と失業者数が共に高いという前例のない状況が起きています。当初、コロナが落ち着けば一時解雇されていた人々が元の職場に戻り、問題は簡単に解決すると思われていましたが、この1年半の間に求人側と求職者それぞれに大きな意識改革が起きていたようです。

ウォールストリートジャーナル紙によると、企業側は、トランプ政権の法人税減税により生まれた潤沢な設備投資資金を使って、システムのハイテク化、自動化、またオンラインサービスへの移行による店舗閉鎖などを推し進めました。その結果、一時解雇したローテク社員を呼び戻す必要がなくなりました。その代わりに、ハイテク化した企業では、ITやコンピュータサイエンスなどの高度な専門知識や技術を駆使しながらマネジメントができる人材を大量に求めています。実際のところ人材の確保が難しい状況となっています。

一方、求職者側は、失業前の給与よりも高額となる失業手当や給付金を受け取った人も多く、その結果、より高い収入の仕事への転職を望む人々が増えました。給付金を使ってキャリアアップのための資格などを取った人も多く、彼らにとってはレストランや流通などに代表されるサービス業界の低賃金、単調な作業、将来性の無い仕事は魅力がなくなり、応募者が激減しているそうです。

そこでスターバックスやマクドナルドなどの大手企業は、アルバイトも含めた従業員に大学の奨学金を提供し始めています。中でも全米最大の従業員を抱えるスーパーマーケットのウォルマートは、150万人分の奨学金を用意しているそうです。従業員にとって、

仕事内容が単調で低賃金でも、給与に加えて大学の奨学金がもらえ、卒業後の飛躍にも繋げられるWin, Win and Winの嬉しい条件です。企業にとっても、質の高い従業員を卒業までの長期間確保できます。また企業と提携した大学にとっても、安定した収益増大に繋がり、まさに三者 Win, Win and Win の戦略です。大抵の企業は、従業員の大学での専攻は自由としていますが、Amazonはメカニク、IT、健康管理、運輸関連のコースを、またオーガニックメキシカン料理チェーン店の Chipotleでは調理大学、供給サプライ管理、農業工学などのコースを奨励しており、卒業後は自社の即戦力になってもらう狙いがうかがえます。

また、夏の間のレジャー施設や農場関連でも、トランプ政権下で海外からの季節労働者へのビザ発行が厳しくなったこととコロナ関連の水際対策、州間の移動規制の影響で人手不足が深刻です。ピッツバーグの遊園地では、コロナ前 990円だった時給を、この夏は1,430円にアップし、地元の高校生をアルバイトとして雇っているそうです。全米でも、16歳~19歳の雇用率が2008年以降で一番の伸びを示しており、高校生たちにとって最高の夏休みとなっているとのことです。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。  
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

**ほくりく長城会**

**長城メール**

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局  
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F  
(株)人材情報センター内  
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565  
E-mail: info@chojo-hokugin.jp